

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

第18回理事会

次第

1 議決事項

第1号議案 事務総長及び事務次長の選定について・・・・・・・・・・P3

2 報告事項

第1号報告 政府委員の就任について・・・・・・・・・・P5

第2号報告 GREEN×EXPO2027の進捗状況について・・・・・・・・P7

資料1 GREEN×EXPO2027の進捗状況について・・・・・・・・別紙

第3号報告 2024年度の理事会総会等の予定について・・・・・・・・P9

資料2 2024年度 理事会総会等予定一覧・・・・・・・・・・P11

3 その他

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
第18回理事会
議案書

議決事項 第1号議案

事務総長及び事務次長の選定について

定款第24条第1項に定められた任期を満了した理事について、第9回（定時）社員総会の決議によって再任されましたので、定款第21条第3項及び第29条第3号の規定により、事務総長（代表理事）及び事務次長（業務執行理事）について、次のとおり選定することを提案します。

事務総長（代表理事）
河村 正人 理事

事務次長（業務執行理事）
佐藤 速水 理事

【参考条文】

○公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 定款

第21条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。

3 会長、副会長、事務総長及び事務次長は、理事会の決議によって選定する。

第24条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

第29条 理事会は、次の職務を行う。

(3) 会長、副会長、事務総長及び事務次長の選定及び解職

政府委員の就任について

2024年4月1日施行の「2027年国際園芸博覧会政府委員の設置に関する臨時措置法」に基づき、4月2日（火）の閣議決定をもって、越川 和彦氏が2027年国際園芸博覧会政府委員に任命されましたので報告します。

政府委員は、本博覧会に関する全ての事項について政府を代表するものであり、幅広い国・国際機関に対する参加招請活動を含む種々の準備及び、会場・展示物等に関する調整を含めた各種準備に携わります。

【参考】

○2027年国際園芸博覧会政府委員の設置に関する臨時措置法

第二条 外務省に、二千二十七年国際園芸博覧会政府委員（以下「委員」という。）一人を置く。

第三条 委員は、二千二十七年国際園芸博覧会に関する事項について、国際博覧会条約（国際博覧会条約第二十七条の規定に基づいて制定された二千二十七年国際園芸博覧会一般規則を含む。）の定めるところにより、日本国政府を代表することを任務とする。

○一般規則

博覧会政府委員は、本博覧会に関する全ての事項について政府を代表する。

博覧会政府委員は、BIE及び参加者に対する約束が確実に履行されることを確保する責任を負う。

報告事項 第2号報告

GREEN×EXPO2027の進捗状況について

GREEN×EXPO2027の進捗状況について、資料1のとおり報告します。

【資料】

- ・資料1 GREEN×EXPO2027の進捗状況について

報告事項 第3号報告

2024年度の理事会総会等の予定について

2024年度の理事会総会等の予定について、資料2のとおり報告します。

【資料】

- ・ 資料2 2024年度 理事会総会等予定一覧

2024年度 理事会総会等予定一覧

資料 2

時期	名称	主な議題	備考
6月	第17回理事会	【議決事項】 ・2023年度事業報告について ・2023年度決算について ・常勤理事の報酬の額について ・財務委員会の委員の選任について ・理事の利益相反取引の承認について ・第9回（定時）社員総会の開催について 【報告事項】 ・2023年度内部監査結果について ・特定寄附金及び指定寄附金に関する指定期間の延長について ・理事の利益相反取引の報告について	書面開催 (6月5日議決)
	第9回（定時）社員総会	【議決事項】 ・理事の再任について ・2023年度決算について 【報告事項】 ・2023年度事業報告について ・2024年度事業計画及び予算について	実開催 (6月19日開催)
	第18回理事会	【議決事項】 ・事務総長及び事務次長の選定について 【報告事項】 ・政府委員の就任について ・GREEN×EXPO2027の進捗状況について ・2024年度の理事会総会等の予定について	実開催 (6月19日開催)
9月 ～10月	●現地視察	/	昨年同様、理事・監事の皆様を対象とした現地（旧上瀬谷通信施設跡地）への視察を行う予定です。
11月頃	第19回理事会	【議決事項】 ・未定 【報告事項】 ・本年度上半期職務執行状況報告 等	実開催
3月頃	第20回理事会	【議決事項】 ・次年度事業計画 ・次年度予算 ・理事の報酬の具体額 等 【報告事項】 ・進捗報告 等	実開催

※上記の他、臨時（書面開催を想定）の理事会・社員総会を開催することがございます。



資料 1

GREEN×EXPO 2027の進捗状況について

目次

- ・協会組織・財務委員会
- ・会場整備
- ・主催者展示
- ・出展
 - ①公式参加者
 - ②花・緑出展
 - ③Village出展
- ・植物調達
- ・催事・営業参加・協賛
- ・交通対策
- ・広報・機運醸成
- ・サステナビリティ戦略
- ・スケジュール



EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

協会組織・財務委員会について

2027年国際園芸博覧会協会組織概要

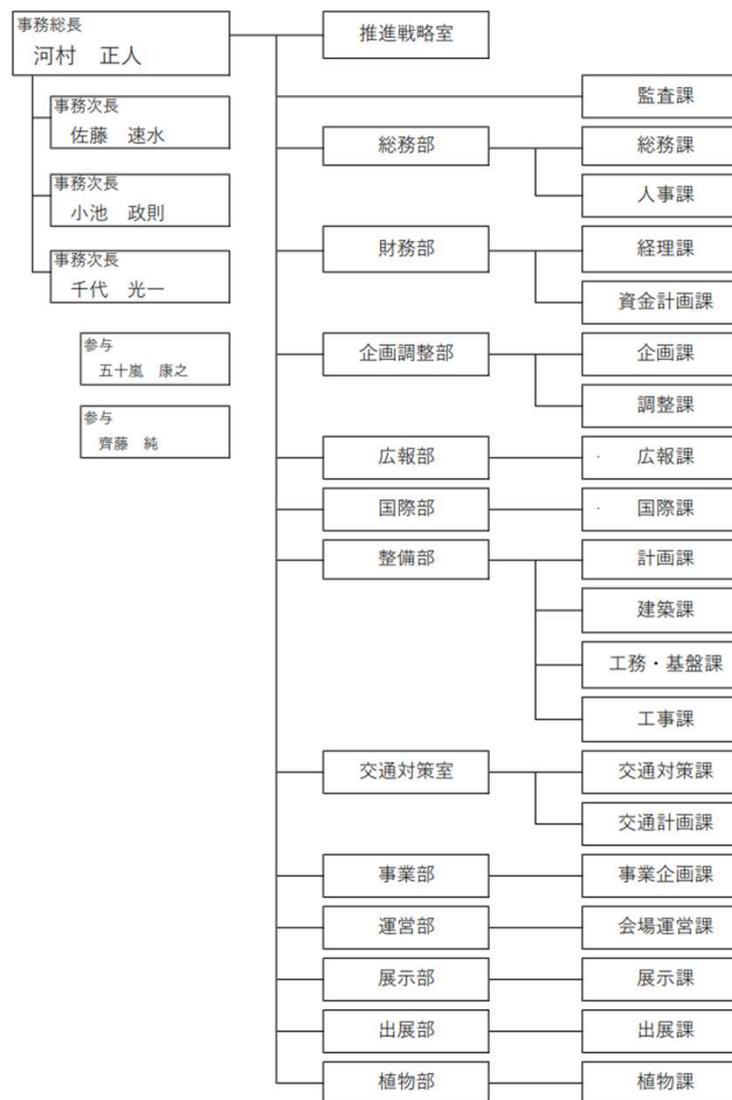


○協会組織・人員

<法人格>公益社団法人 2022.12～

<組織>13室・部 20課（2024.6.1現在）

<職員数>182名



財務委員会



2023年度の財務委員会活動状況としては、以下のとおりです。
第1回開催にて「2027年国際園芸博覧会寄附金募集基本方針」、
第2回開催にて「2027年国際園芸博覧会寄附金募集計画」について決議し策定しました。

項目	第1回開催	第2回開催
開催日時	2023年6月13日（火）16：10～16：30	2024年2月5日（月）16：00～16：35
開催場所	東京商工会議所渋谷ホール	日経カンファレンスルーム
開催方法	実開催・オンライン開催併用	実開催・オンライン開催併用
委員所属 団体等	財務委員長（宮永 俊一）、全国経済団体、 地元経済団体	財務委員長、全国経済団体、地元経済団体、 各地域経済団体、業界団体
議題	○提案事項 ・第1号提案 財務委員会委員長及び副委員長の選任について ・第2号提案 財務委員会実行委員会委員の選任について ・第3号提案 2027年国際園芸博覧会寄附金募集基本 方針について	○報告事項 ・2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の 概要 ・財務委員会及び委員の新任について ○提案事項 ・第1号提案 財務委員会実行委員会委員の選任について ・第2号提案 2027年国際園芸博覧会寄附金募集計画について

会場整備について

会場の骨格

南から北へ風が抜けていく環境です。

風

緩やかな起伏のなかで、
相沢川と和泉川が流れています。

水

相沢川

和泉川

緑

樹林、湿地、草地、畑地など
多様な緑の環境があります。

風・水・緑を、環境性能の高い空間として、
GREEN×EXPO 2027会場の骨格とします。

3つのゾーンと5つのVillage

GREEN×EXPO 2027会場

Carbon Neutral & Nature Positive

Nature-based Design



ゾーン

Nature-based Solutions (Nbs)
自然を活用した解決策の基盤をなす植物について、その重要性、不思議さ、美しさを知る

ビレッジ

産官学・市民が共創し、Nbs
を实践、共有する

Nbsの基礎となる植物への理解・尊敬のもと、Nbsを意識、行動する市民や企業を広げる

3つのゾーン

3つのゾーン
GREEN×EXPO 2027の骨格となる
3つのゾーンを設けます。



国際出展ゾーン

世界の園芸文化、食農文化の多様性に出
会う国際色豊かなゾーン

シンボルゾーン

テーマ館や多彩なコンペティションを行う屋内出
展施設が並ぶゾーン

日本ゾーン

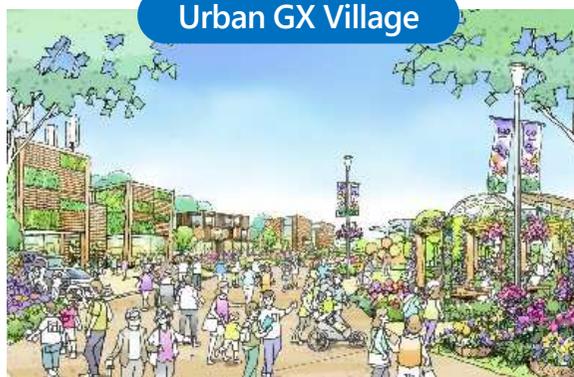
日本政府による庭園や屋内展示、自治
体出展などが集結し、日本の園芸文化の
奥深さに触れられるゾーン

5つのVillage

5つのVillage

GREEN×EXPO 2027独自の取り組みとなる様々な展示・体験プログラム等を複合させた共創事業として5つのVillageを設けます。主催者と参加者がVillageのコンセプトを共有しながら、「幸せを創る明日の風景」の創出に取り組みます。

Urban GX Village



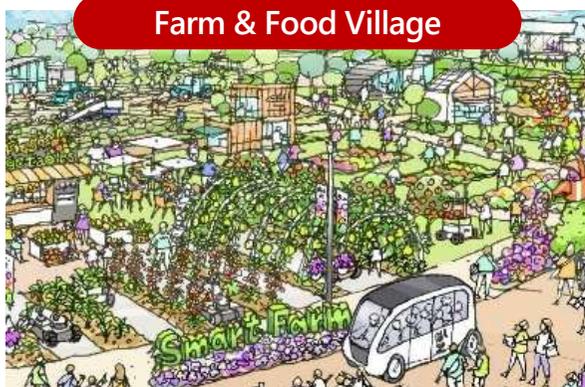
脱炭素社会を目指して新たな技術を導入した未来の都市像を体感できます。

Craft Village



自然と共に生きる知恵と技が詰められた、日本の伝統産業などの温故知新を体感できます。

Farm & Food Village



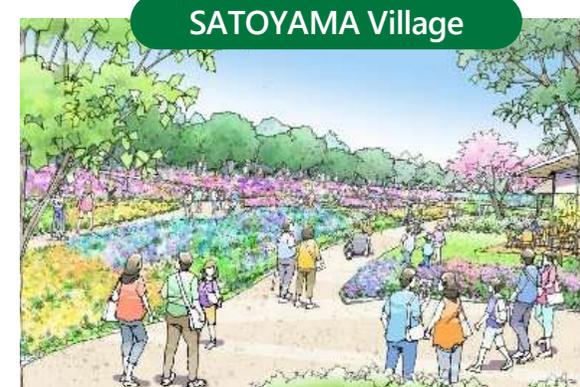
健康を支える食と農が共存した生活と、その豊かさを実感できます。

Kids Village



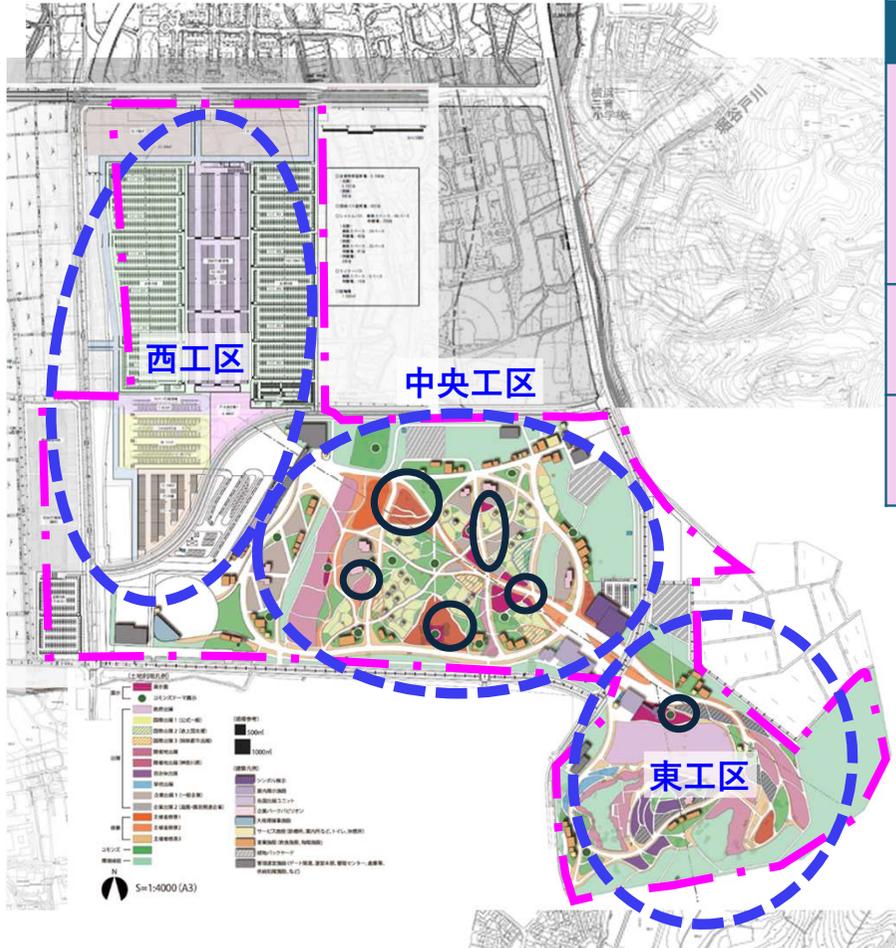
これからの地球を生きる子供たちが、遊びを通じて自然の大切さを学べます。

SATOYAMA Village



日本の原風景である里山を体感し、生物多様性の価値を再認識します。

協会の工事全体のスケジュール

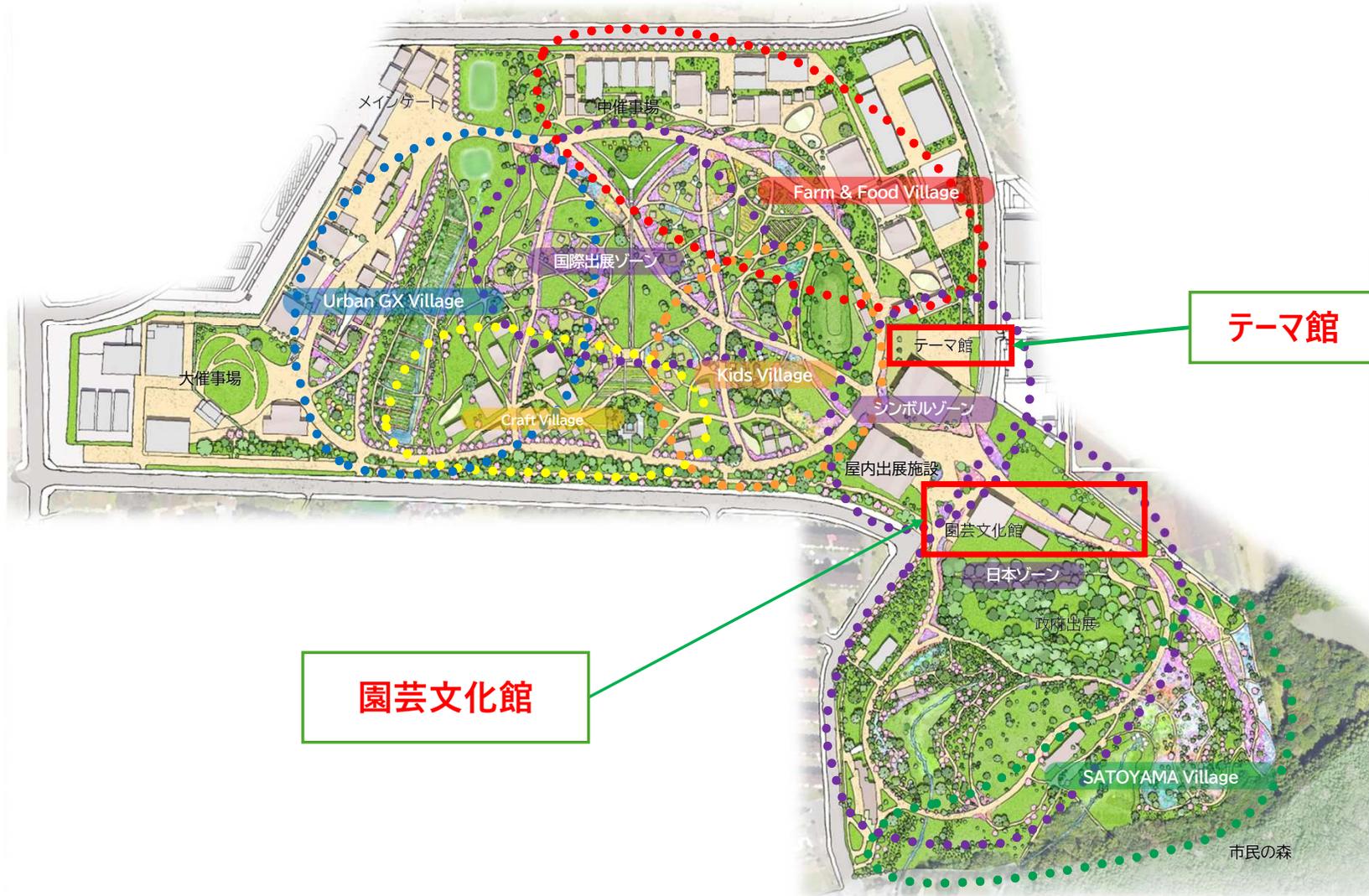


工事概要【想定】			工期(年度)				
種別	工種	エリア	2023	2024	2025	2026	2027
会場整備 工事	中央、 東	舗装、給排水施設 ・電気設備、植栽等		▶			博 覧 会
	西	舗装、給排水施設 ・電気設備、植栽等		▶			
造園工事	植栽(展示園、主催 者修景)	○			▶		
仮設建築 (リース)	開発・設計～建築～ 管理～撤去	会場内 各所		▶			

- 会場整備工事**
 ・中央工区、東工区
 2024年秋から現場着手できるよう2024年4月に公告済です。
 ・西工区
 2024年度末から現場着手できるよう2024年度下半期に発注します。
- 造園工事**
 会場整備工事に引き続き2025年度から現場着手します。
- 仮設建築(リース)**
 廃棄物抑制の観点から仮設リース建築を活用します。
 2024年度上半期発注予定です。

主催者展示について

主催者展示 (テーマ館・園芸文化館)



園芸文化館

テーマ館



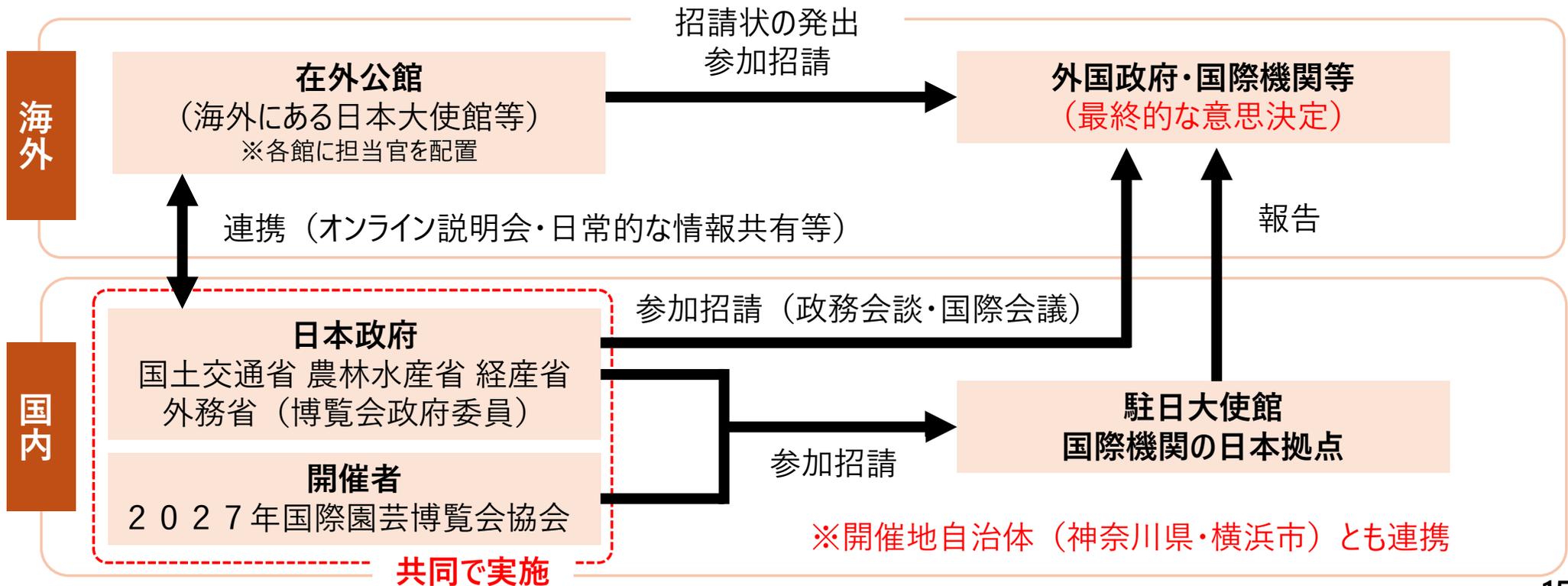
出展について
(公式参加者、花・緑出展、Village出展)

公式参加者（外国政府・国際機関等）



AIPHの承認・BIEの認定を得たA1ランクの本園芸博においては、公式参加者（外国政府・国際機関等）の参加招請は、**日本政府から外交ルートを通じて実施**しています。

参加招請の実施体制



公式参加者（外国政府・国際機関等）



47か国参加

駐日大使館向け説明会
(2月27日・29日)



44か国参加

駐日大使館向け視察会
(3月21日)



GX House設計施工代行サービス
(イメージ)

- ・2024年2月から3月に駐日大使館向け説明会、現地視察会を政府・協会の共催で実施し、多くの国から参加いただきました。
- ・2月には在外公館向けのオンライン説明会を政府・協会が実施し、世界各国の日本大使館や日本政府代表部で参加招請を担当する在外公館職員に最新の情報をお伝えしました。
- ・博覧会政府委員と連携し各国の駐日大使館の訪問を本格化しています。
- ・上記の通り協会・政府が連携し、引き続き各国・国際機関等の参加表明に向け、国内・海外での参加招請に取り組めます。

< GX House設計施工代行サービス >

協会が出展者に代わり設計施工を行うもので、規格化されたリユース部材の活用により、環境負荷を低減すると同時に、コストの低減・工期短縮・事業リスク低減を図るものです。

花・緑出展

国内外問わず、花・緑に関わる企業、団体、個人、自治体が、GREEN×EXPO 2027のテーマ等に適合する庭園作品や生產品（植物、装飾、資材）を展示するとともに、**コンペティション**に参加いただきます。



屋外 出展

- ・出展料は**無料**
※出展に関わる諸経費は出展者負担
- ・1区画**25m²**（複数区画使用可）
- ・**全期間**出展（192日間）



屋内 出展

- ・出展料は**無料**
※出展に関わる諸経費は出展者負担
- ・1区画**20m²**（複数区画使用可）
- ・**短期間**出展（9日間）
- ・**全期間**出展（192日間）

花・緑出展

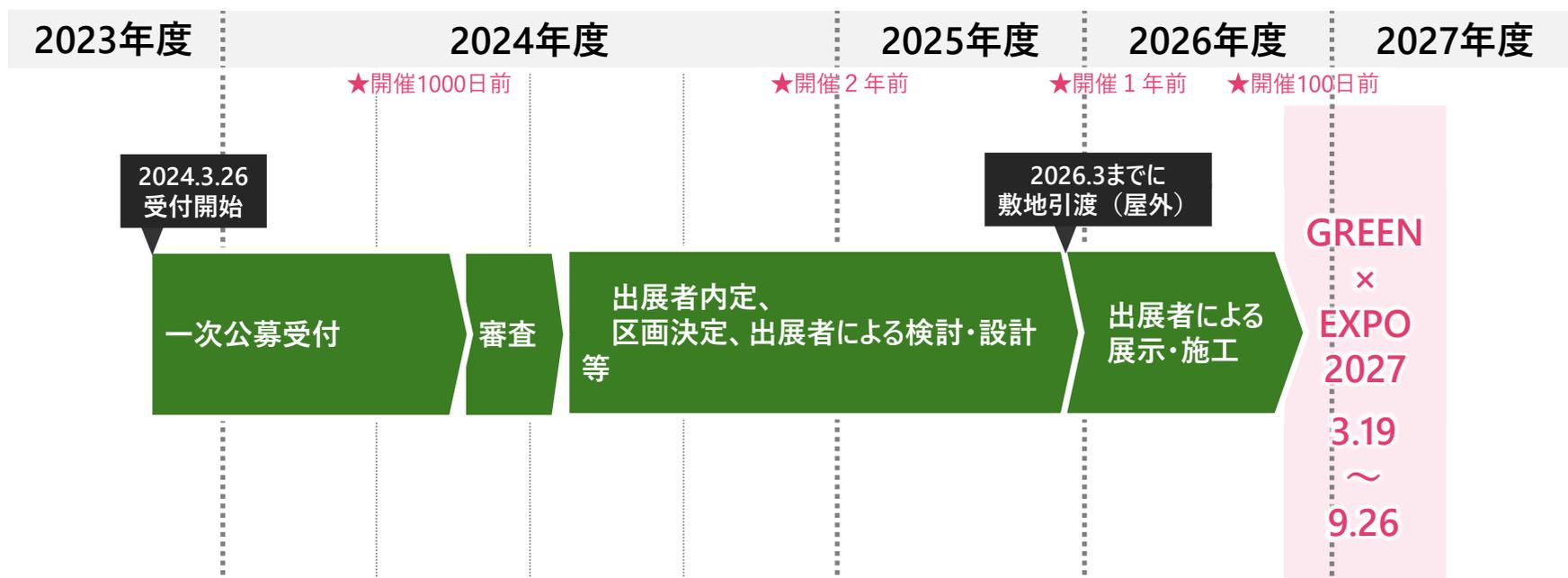


○2024年3月19日に公募要領を公表し、**3月26日から一次公募受付を開始**
・一次公募受付締切は7月31日、その後、審査・出展者の内定を行います。

花・緑出展 ※ (企業・団体・個人、自治体)

※ 二次公募は、一次公募を踏まえ、秋以降に実施することを検討します

※ 自治体は、10月以降に二次公募を実施します



出展検討状況調査の提出団体に対して参加申込を促すため、自治体や企業・団体・個人と順次、意見交換を実施していきます。

1 自治体

自治体（47都道府県、20政令指定都市、8市町村）、農林水産省、国土交通省、地方農政局・地方整備局による「2027年国際園芸博覧会推進連絡会議」を開催し、参加申込を促進します。

2 企業・団体・個人

出展意向のある企業・団体・個人を対象として、出展にあたってのテーマや維持管理等について意見交換を実施しています。



意見交換の様子

Village出展



GREENの力と産業活動が融合した姿を示し、テーマ「幸せを創る明日の風景」を感じさせる屋外空間（庭園、広場等）・展示施設を整備、独自の体験やコンテンツを発信いただく出展方法です。

○2024年3月19日に公募要領を公表し、5月31日から一次公募受付を開始

- ・一次公募受付締切は7月31日とし、その後、審査・出展者の内定を行います。
- ・会場内に全Village合計10～20区画を配置する予定（1区画あたり約1,000㎡～3,000㎡の予定）です。



Village出展

※ 二次公募のスケジュールは
実施決定時に別途お知らせします

『GREEN×EXPO 2027共創フォーラム』



- 1 日時：2024年3月19日（火） 15：10～16：40
- 2 会場：イイノホール&カンファレンスセンター（千代田区内幸町） ※横浜会場とも一部ライブ中継
- 3 来場者数：東京会場 約450名、横浜会場 約140名



<主催者挨拶>
博覧会協会
十倉会長
(ビデオメッセージ)

<共創トーク>
GREEN×EXPOラボ
チェアパーソン
涌井 史郎氏
公式アンバサダー
芦田 愛菜氏



<関係機関挨拶>
齊藤国土交通大臣、舞立農林水産大臣政務官、上月経済産業副大臣、山中横浜市長、黒岩神奈川県知事



<出展や協賛等の募集に関する説明>
博覧会協会事務局

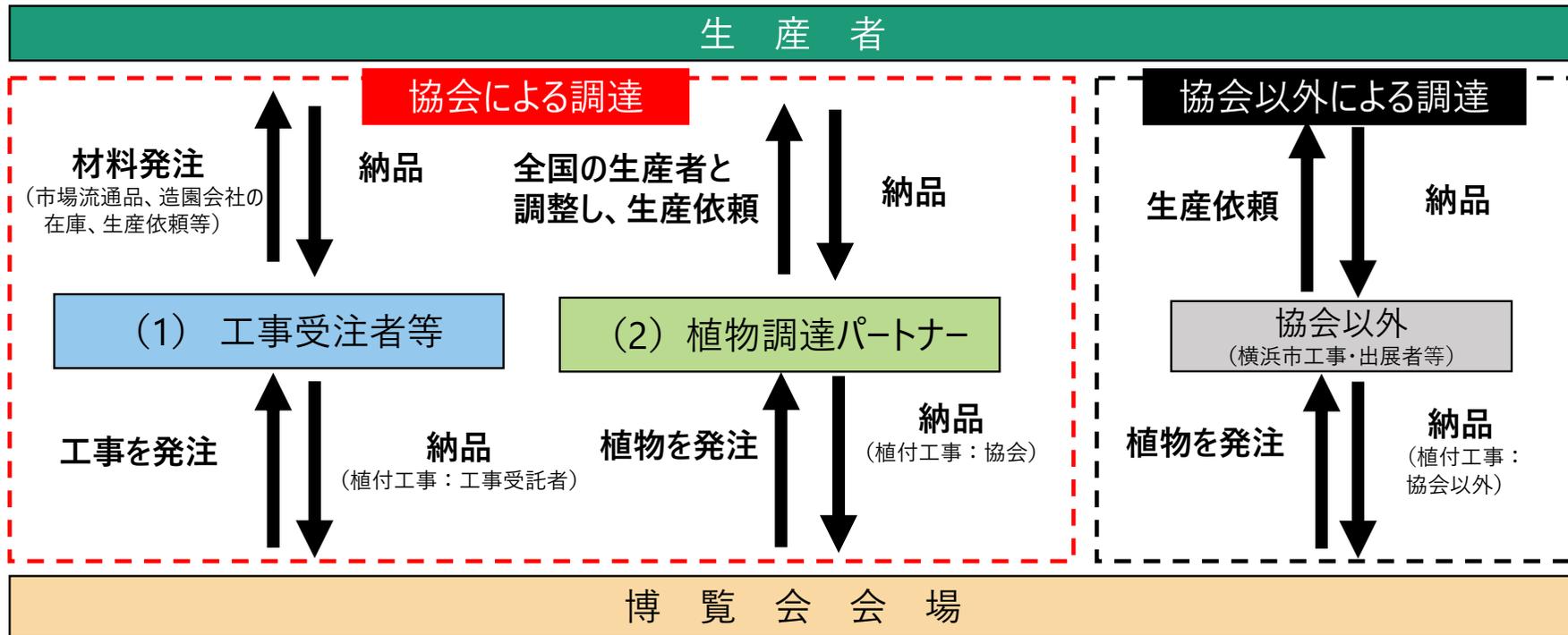
植物調達について

植物調達

○植物調達の体系

会場を構成する植物は協会が調達するものと横浜市公園工事や出展者により調達されるものがあり、そのうち、協会が植物調達を行う際、以下の2つに大別されます。

- (1) 工事受託者等を通じた発注 **【材料・工事一括発注】**
 - 工事等の中で工事受注者が材料調達を行うもの (例. 一般的な流通樹木、造形物等)
- (2) 協会が認定した「植物調達パートナー」を通じた発注 **【材料調達】**
 - 協会が植物調達パートナーに調達を依頼した植物 (例. 花苗、仕立物等)



催事・営業参加・協賛について

催事

季節やテーマに合わせた催事を企画し、催事テーマに共感していただける企業・団体と共に、博覧会の世界観・祝祭感を演出します。

- 「2027年国際園芸博覧会基本計画」に基づき、具体的な催事の中身について検討中
- ・2024年度中に「行催事実施計画」、「催事管理センター運営実施計画」を策定予定です。
- ・2025年度は、催事個別実施計画を策定するとともに、「催事管理センター」を設置し、参加者の募集を行う予定です。



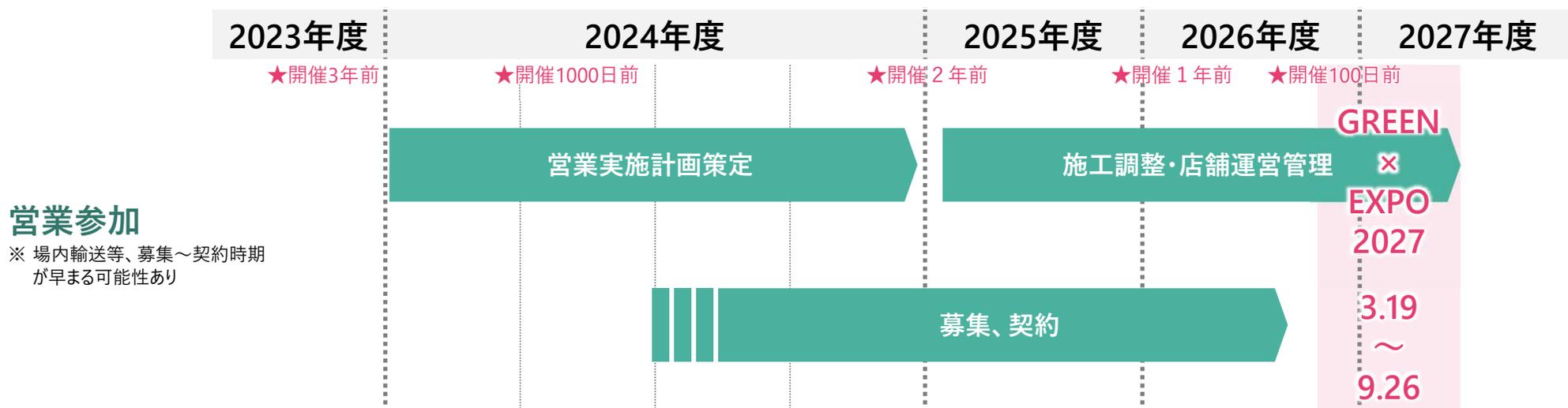
営業参加



博覧会会場内での**営業施設**（レストラン、物販店舗等）や、**モビリティ**や**観覧施設等**の運営にご参加いただける企業・団体を募集し、来場者のニーズに応えます。

○「2027年国際園芸博覧会基本計画」に基づき、具体的な営業参加について検討中

- ・2024年度中に「**営業実施計画**」を策定予定です。
- ・業種・業態の構成・規模・配置、売上規模・事業収支の整理とともに、円滑な営業施設運営の検討を行います。
- ・2024年度下半期以降から「**テーマ営業出店**」など、順次、営業参加メニューを公表し募集していきます。



協賛

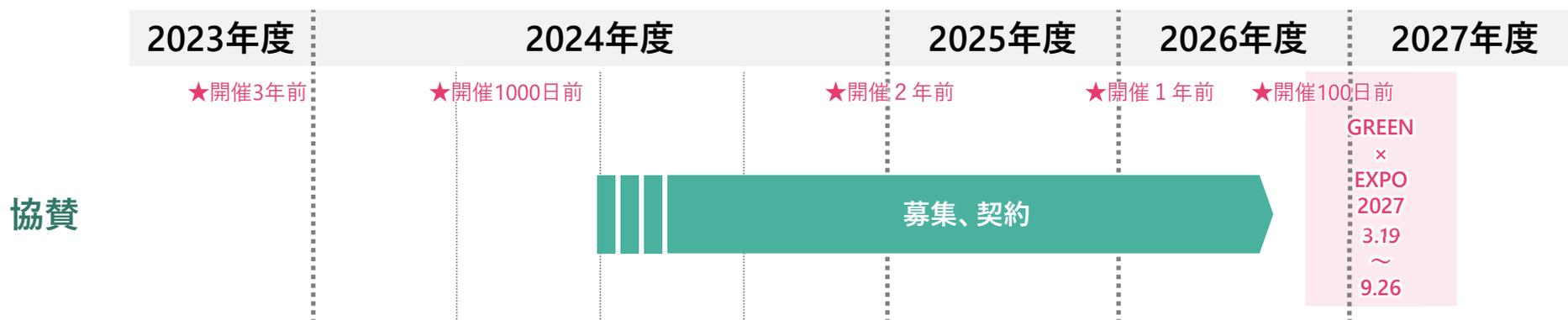


博覧会への協賛については、様々なメニューを設定しています。協賛の主旨や各企業・団体が取扱う業務・物品等に合わせ、GREEN×EXPO 2027ならではの**展示空間演出**や、**来場者が快適に過ごせる会場づくり**に貢献いただきます。

○2024年度下半期以降からの募集に向けて検討中

- ・協賛メニュー検討に向けた**企業サウンディング**を実施します。
- ・協賛が必要となる**施設・物品、サービス等**を整理し、早期に募集を開始していきます。

協賛		
展示や出展への協賛 協会展示協賛 (テーマ館・展示園) Village協賛	施設協賛・運営協賛 社会実験 植物・現物・役務等の提供 催事協賛 協会主催催事協賛	広報協賛 タイアップ 媒体枠等の提供



交通対策について

交通対策

1 来場者輸送基本計画

来場者輸送に関する基本的事項である「めざすべき姿」や「前提条件」などを定める「**来場者輸送基本計画**」を2024年3月25日に策定し、ホームページで公表しました。

<めざすべき姿>

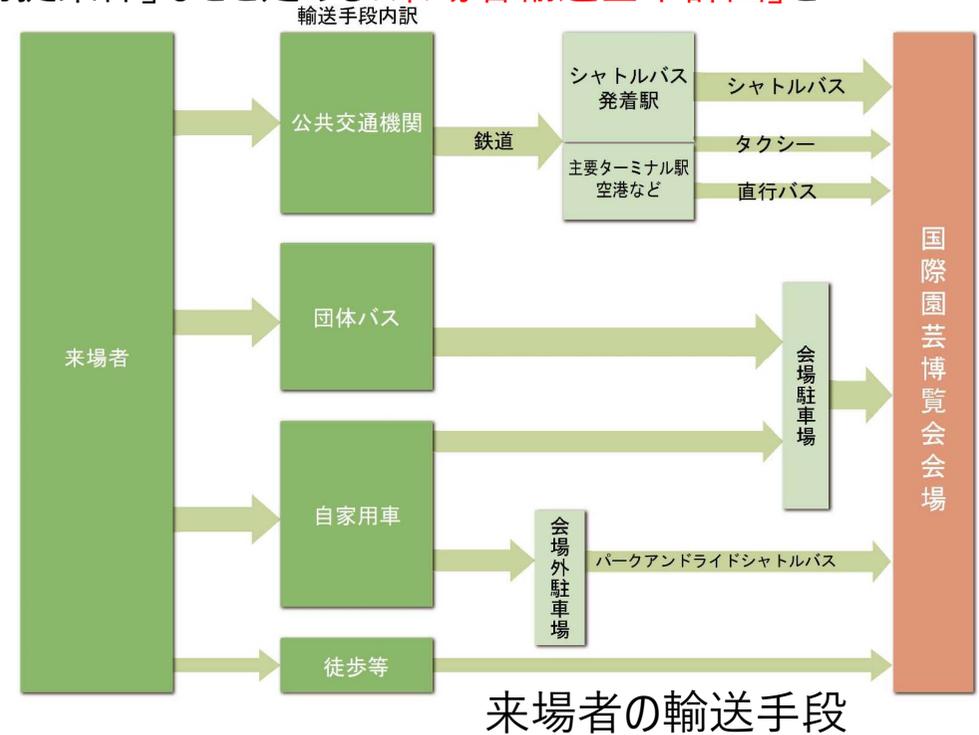
- ・**利便性**の高い公共交通体系の構築
- ・会場周辺道路や広域的なアクセス道路における**混雑の緩和**
- ・**交通マネジメント**の推進

<前提条件>

設計基準来場者数：約105,000人/日（多客日）

（設計基準来場者数の交通機関別内訳）

設計基準 来場者数	公共交通 機関	団体バス	自家用車	徒歩等
約105,000 人/日	約40,000 人/日	約16,000 人/日	約43,000 人/日	約6,000 人/日



2 来場者輸送実施計画

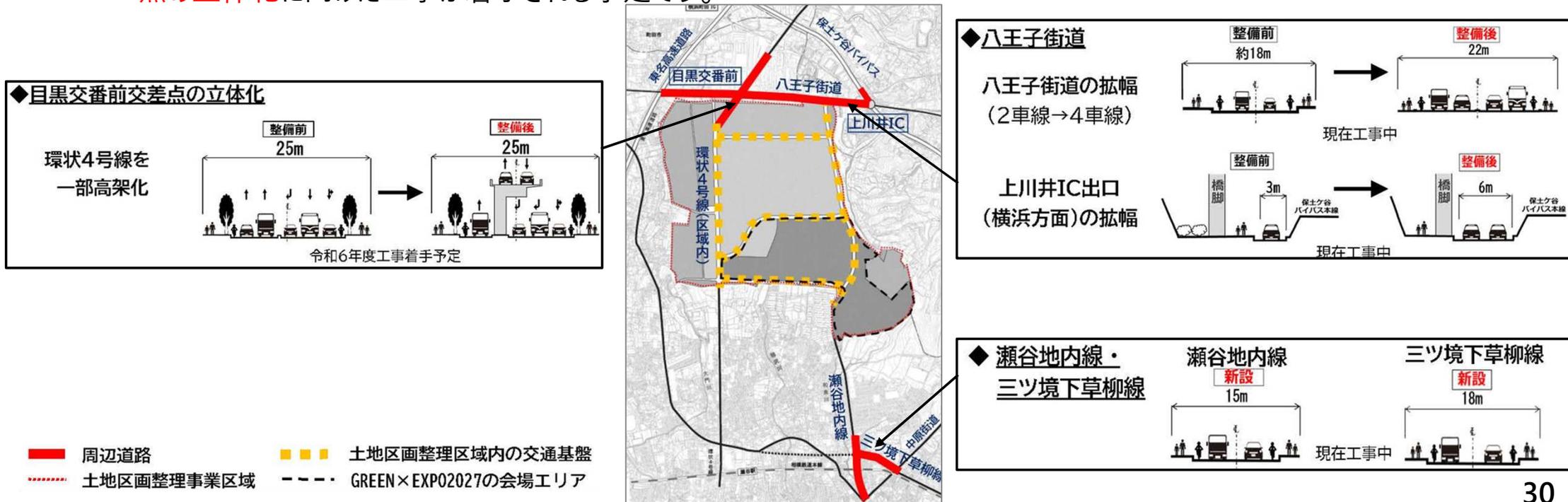
「めざすべき姿」を実現するため、交通機関別の具体的な輸送方法や対策などについて、引き続き、輸送対策協議会や有識者との技術検討会で協議・調整等を行い、今年度末までに「**来場者輸送実施計画**」を策定していく予定です。計画の策定にあたっては、シャトルバスの速達性の確保、会場周辺の混雑の緩和、交通需要マネジメントなどの対策について今後検討を進める予定です。

交通対策

3 周辺道路の整備について

上瀬谷周辺の日常的な渋滞の解消、GREEN×EXPO 2027開催時における来場者の円滑な交通アクセスの確保、その後の新たなまちづくりに向け、土地区画整理事業での道路整備と併せて、道路の拡幅、新設、交差点立体化が横浜市にて進められています。

令和6年度は、八王子街道の拡幅や瀬谷地内線の用地取得と工事を引き続き進めるとともに、目黒交番前交差点の立体化に向けた工事が着手される予定です。

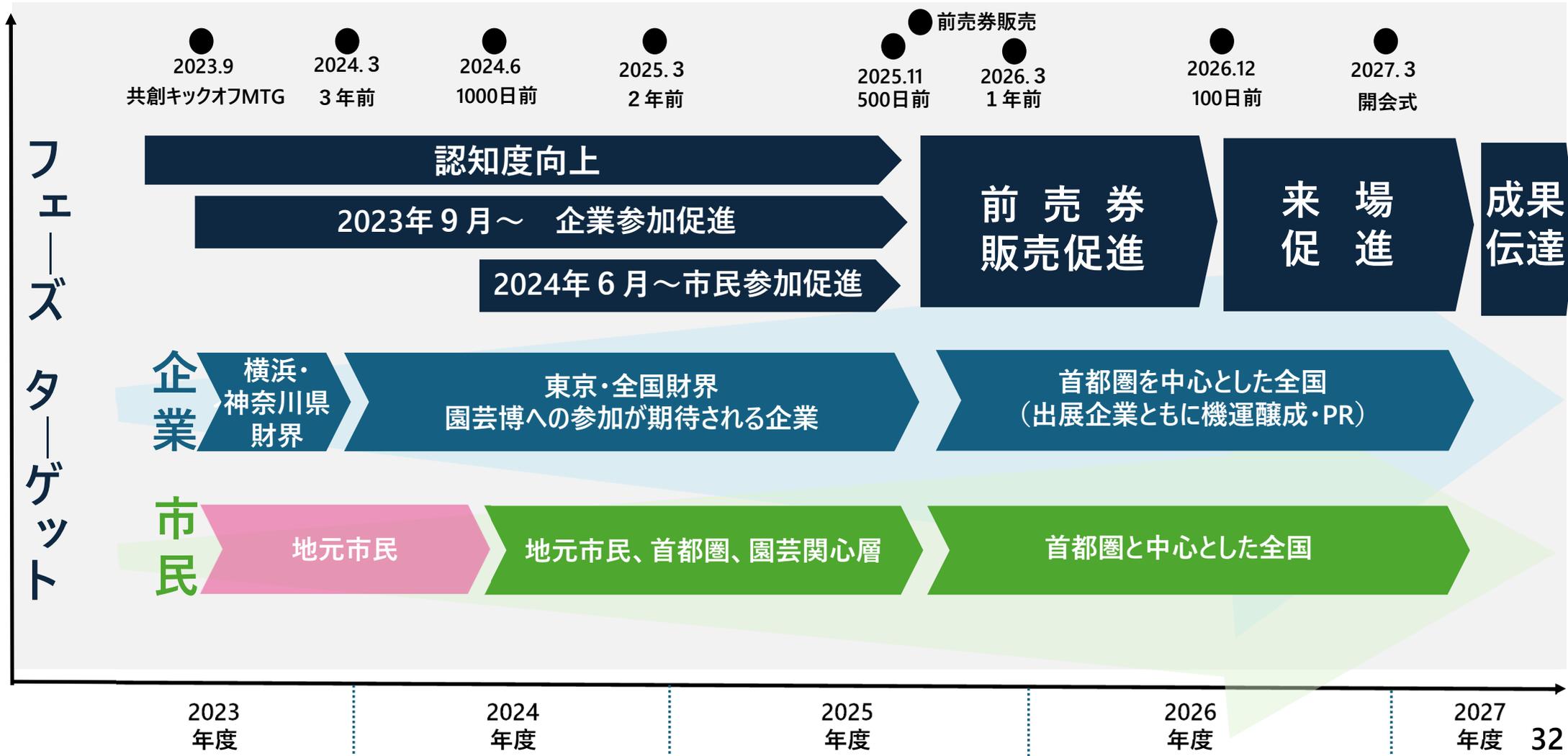


広報・機運醸成について

広報戦略



フェーズに応じて企業や市民ごとに、**地元**から**首都圏**、**全国**へと、広報ターゲットを拡大していきます。



『GREEN×EXPO 2027 開催1000日前イベント』(6月22日～23日)



1 2027年国際園芸博覧会開催1000日前記者発表会

- (1) 日時 6月22日(土) 11時～12時(予定)
- (2) 会場 ホテルニューグランド ペリー来航の間
- (3) 登壇者 公益社団法人2027年園芸博覧会協会
会長 十倉 雅和(一般社団法人日本経済団体連合会会長)、
副会長 山中竹春(横浜市長)、副会長 黒岩祐治(神奈川県知事) (代理:神奈川県副知事)
公式アンバサダー 芦田 愛菜
- (4) 実施内容 ・公式アンバサダーの芦田愛菜さんによる公式マスコットキャラクターの名前発表
・神奈川県立横浜瀬谷高等学校の生徒による花みどりに関する活動の紹介 等

2 市民向けイベント

(1) 桜木町駅前広場

花やみどり、遊具による駅前リビングガーデン化、次世代モビリティ試乗体験

(2) ランドマークプラザ



桜木町駅前広場



ランドマークプラザ

GREEN×EXPO 2027に関する展示、市民活動団体によるステージ発表、デジタル技術を活用したアトラクション、公式マスコットキャラクターバルーンの設置、親子で楽しむワークショップ、パネル展

『GREEN×EXPO 2027開催1000日前イベント』（6月22日～23日）



3 横浜市との連携

- ・会場となるみなとみらい21地区を公式マスコットキャラクターで染める、まちなか装飾（バナー、デジタルサイネージ等）
- ・みなとみらいのシンボルである大観覧車（コスモクロック 2 1）の公式マスコットキャラクターライトアップ
- ・横浜スパーリングトワイライト2024と連携した、公式マスコットキャラクター型の花火
- ・桜木町駅前広場と隣接するメモリアルパークでの蜷川実花氏デザインのラッピングバス、公式マスコットキャラクター仕様の収集車の展示
- ・1都3県を走る相模鉄道・東急電鉄・京浜急行・横浜市営地下鉄で、アドトレインの運行（6月～7月）



※アドトレイン：車内すべての広告枠を1社独占による統一テーマで展開する電車

サステナビリティ戦略について

サステナビリティ戦略の概要



AIPH（国際園芸家協会）の規則等に基づき、サステナブルな国際園芸博覧会を実現するため、基本方針や目標等を定めた「サステナビリティ戦略」を2024年3月に策定しました。

テーマ等を踏まえ、**生物多様性**や**気候変動対策**等の取組を発信し、サステナブルな社会の実現に貢献します。

項目	概要
1 はじめに	AIPHが定める「サステナビリティ・ポリシー」等に基づき、GREEN×EXPO 2027のテーマ「幸せを創る明日の風景」や開催意義等を踏まえ、サステナブルな国際園芸博覧会を実現します。
2 状況分析	本園芸博では、 国内外の条約、法令等を遵守・尊重 。SDGs（国連持続可能な開発目標）の 全17の目標の達成に貢献 する取組を推進し、環境分析により本園芸博の状況を分析します。
3 基本方針	1 人権、2 労働、3 腐敗防止、4 ダイバーシティ&インクルージョン、5 アクセシビリティ、6 環境 の6分野について「基本方針」を設定し、取組の方向性をもとに推進します。
4 目的と目標	5つの「目的」、12の「目標」 について、 KPI（重要業績評価指標） を設定し、取組を推進します。 【目的】 1 気候変動対策、2 生物多様性の保全、3 サステナブルな調達と資源管理、4 公平性と包摂性、5 サステナビリティ教育と意識向上 【目標】 1 生物多様性、2 水環境、3 脱炭素、4 エネルギー、5 公害対策、6 廃棄物と解体、7 建設、8 デザイン・計画、9 交通・会場内移動、10 海外からの参加者、11 サステナブルなイベント運営、12 レガシー

持続可能性に配慮した調達コードの概要



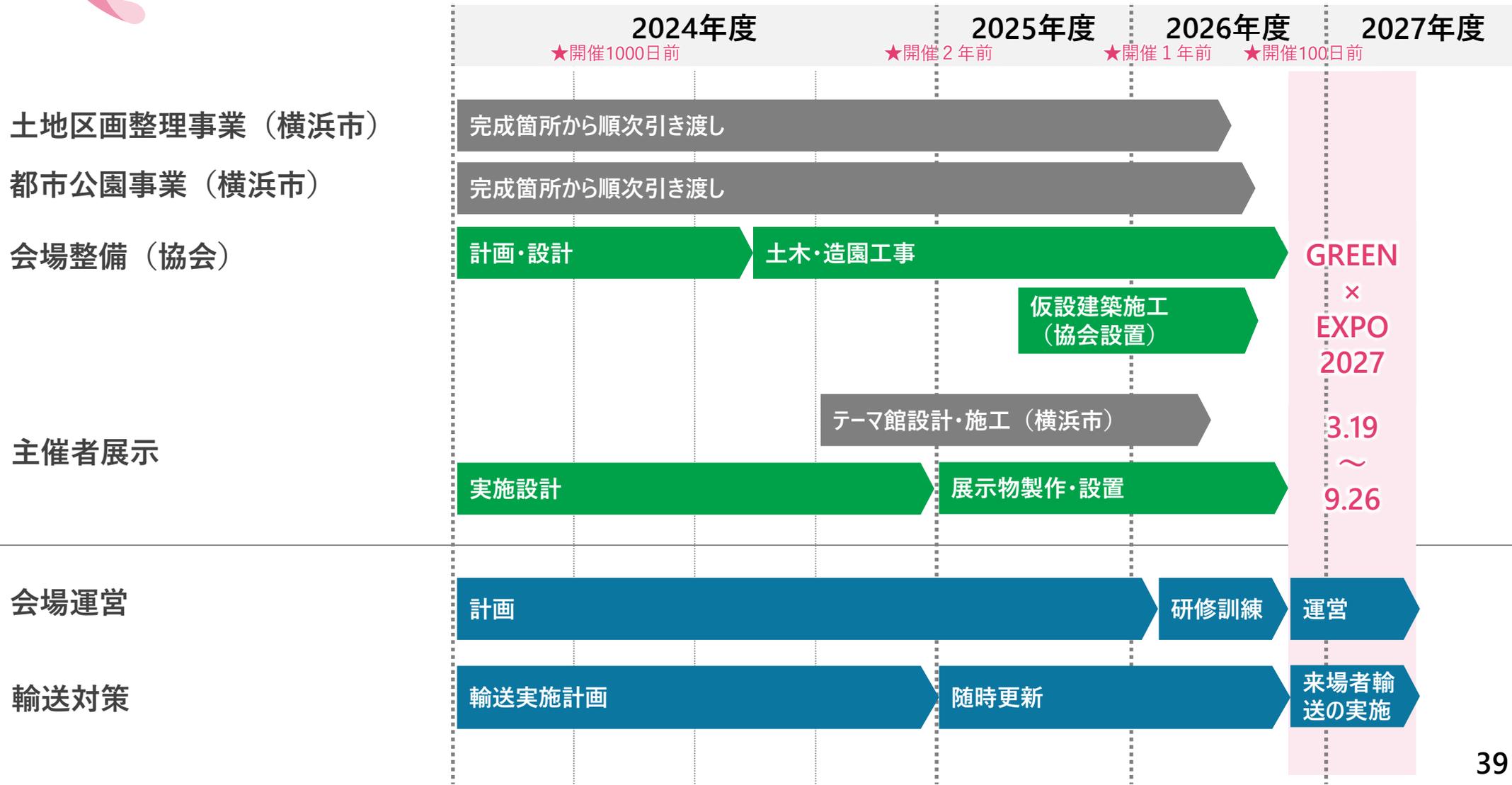
- ・協会や出展者等が、物品・サービスの調達や工事の実施等に当たって遵守する「**持続可能性に配慮した調達コード**」を2024年1月に策定しました。
- ・東京オリパラ、大阪・関西万博では、**5つの共通基準**、**6つの物品別の個別基準**を設定しており、本園芸博においても重要な内容のため、先行事例に準じて策定しています。
- ・また、物品別の個別基準には、**新たにGREEN×EXPO 2027ならではの「7植物」**を設定しています。

項目	GREEN×EXPO 2027の調達コードの構成
持続可能性に関する基準 (共通基準)	全ての物品・サービス・工事等に共通して適用される 5つの共通基準 を設定 1 全般、2 環境、3 人権、4 労働、5 経済
物品別の個別基準	重要な物品・サービス・工事等については、 7つの物品別の個別基準 を設定 1 木材、2 紙、3 農産物、4 畜産物、5 水産物、6 パーム油、7 植物

参考：東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 東京都ポータルサイト「[持続可能性に配慮した調達コード（第3版）](#)」
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会HP「[持続可能性に配慮した調達コード（第2版）](#)」

スケジュールについて

全体スケジュール



全体スケジュール

